

藻類のライフストーリーをオリジナルの線図に解説をつけ見開きで示す!

藻類の生活史集成 全3巻 堀 輝三編 (送料各巻450円)

- 第1巻 緑色藻類 (185種) B5判・450頁・定価8,240円
- 第2巻 褐藻・紅藻類 (171種) B5判・424頁・定価8,240円
- 第3巻 単細胞・鞭毛藻類 (146種) B5判・372頁・定価7,210円

藻類の研究者115名が自らの研究成果と資料をもとに執筆に当り、現時点で明らかになっている藻(502種)の生活史・生活環を線図で集大成した初めての本。

本書の構成は、図を左頁に対面する頁に和英の解説文をつけて、2ページを1単位として組み立ててある。執筆者によるオリジナルの線図は、藻類のライフサイクルを一見して理解させそれに簡明な解説を付す。さらに教育的配慮から多くの種について分布図を、そして各巻ごとに同義語を、各巻の巻末に学名総索引・和名索引を収録して読者が使いやすいよう工夫した。藻類を専門とする研究者や中学・高校の生物の先生、水に関連する研究所や企業の方々を初め藻類に興味をもつ人々にとって、長い間出版が望まれていた本である。 [呈内容案付]

お蔭様で第16巻(100種)刊行、1600種となりました。
藻類の種の分類と同定を写真で解説。座右の手引書にお使い下さい。

淡水藻類写真集 第16巻 山岸高旺・秋山 優編

B5判・100シート 定価7,210円
2穴・並製箱入り(千各380円)
既刊 1・2巻 定価4,120円/3~10巻 定価5,150円/11巻~ 定価7,210円(17巻 96年9月刊)

近刊のご案内 陸上植物の起源 リンダ.E. グラーハム著/堀輝三・渡邊信訳

原題“Origin of Land Plants” 96年4月予定

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺編 日本ではじめて創られた本格的な図鑑。淡水藻類の研究者や水に関係する方々にとっては貴重な文献である。定価39,140円

日本の赤潮生物 写真と解説

福代康夫・高野秀昭・千原光雄・松岡敦充編 日本近海と淡水域に出現する赤潮生物を収録し、写真、文献等から分類・同定した。定価13,390円

藻類学総説

廣瀬 弘幸著 定価10,300円

藻類の生態

秋山・有賀・坂本・横浜編 定価13,184円

水の環境科学

鈴木 静夫著 定価2,472円

数理分類学

スネース&ソーカル/西田・佐藤訳 定価15,450円

植物細胞遺伝工学

西山 市三著 定価5,665円

台湾産浮遊性藻類(英文)

山岸 高旺著 定価12,360円

水辺の科学

—湖・川・湿原から環境を考える—
鈴木 静夫著 定価2,369円

ナマコとウニ

—民謡と酒のさかなの話—
大島 廣著 定価1,339円

内田老鶴園

〒112 東京都文京区大塚 3-34-3
電話(03)3945-6781 FAX(03)3945-6782

呈図書目録
(価格は税込)

海洋環境・藻場造成関係者必携の書!!

図鑑 海藻の生態と藻礁

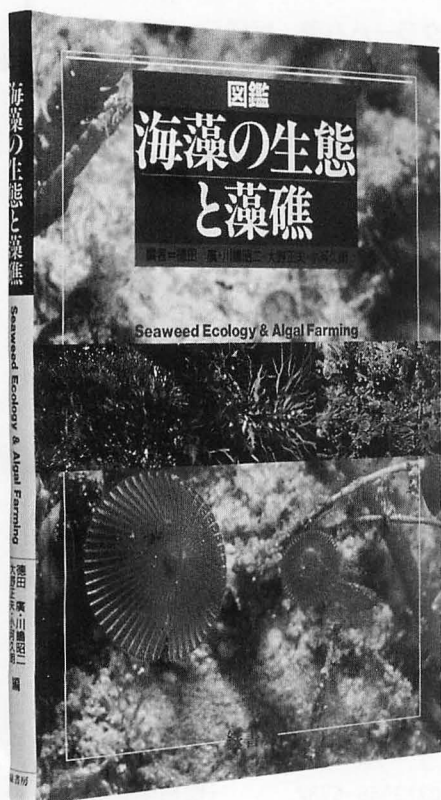
編者 = 徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。

生態編では、緑藻42種、褐藻72種、紅藻80種、海草6種の総計200種をオールカラーで紹介。藻礁編では、藻礁、すなわち藻場造成用人工礁の構造や沈設位置を図示し、海中での藻礁上の海藻の生育状態、あるいは動物の蛸集状態を経時的に撮影した82点に及ぶカラー写真で示した。

藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

■B5判 上製 総ページ 198p
カラーページ 179p
定価 14800円(税込/送サービス)



英語版も完成!
— A Photographic Guide —
**Seaweeds
of Japan**

定価15,000円(税込/送サービス)

日本藻類学会入会申込書

(コピーしてお使い下さい)

19 年度より入会 19 年 月 日 申込み

氏名 _____ 19__年__月__日生

★Name _____
(Family name) (Given name and initials)

所属機関名 _____

★Institution _____

住所 〒 _____

★Institutional Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

自宅住所 〒 _____

★Address _____

電話 _____ Fax _____ e-mail _____

★の項目は英語またはローマ字で必ずご記入ください。英文誌の送付に必要です。

以下の欄にチェックして下さい

会員の種類： 普通会員 7,000円 学生会員 5,000円 (学生会員の場合、指導教官の署名が必要です)

指導教官の署名： _____

会費納入方法： 同封 郵便振替 (できるだけ郵便振替をご利用下さい)

会誌の送り先 所属機関 (勤務先) 自宅

入会申込書送付先：〒305 茨城県つくば市天久保4-1-1 国立科学博物館植物研究部
北山太樹 TEL 0298-53-8975, FAX 0298-53-8401

会費払込先：郵便振替 口座番号00180-5-68429 加入者名：日本藻類学会

学会事務局
使用欄

受付

名簿

発送リスト

入金確認

学会録事

賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 (060 札幌市中央区北3条西7丁目 北海道第二水産ビル4階)
阿寒観光汽船 株式会社 (085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔)
株式会社 シロク商会 (260 千葉市春日 1-12-9-103)
全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (108 東京都港区高輪 2-16-5)
有限会社 浜野顕微鏡 (113 東京都文京区本郷 5-25-18)
株式会社 ヤクルト本社研究所 (189 東京都国立市谷保 1769)
田崎真珠 株式会社 田崎海洋生物研究所 (779-23 徳島県海部郡日和佐町外ノ牟井)
神協産業 株式会社 (742-15 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)
理研食品 株式会社 (985 宮城県多賀城市宮内2丁目5番60号)
株式会社 白寿生科学研究所 (351 朝霞市栄町 3-3-7)
三洋テクノマリン株式会社 (103 東京都中央区日本橋堀留町 1丁目 3-17)

44 巻 1 号 訂正表

	誤り	正
14 ページ, 右カラム, 7 行目	Benett and Bogorad 1975	Benett and Bogorad 1973
18 ページ, 付録 2	Chl の計算結果の単位 mg/ml	µg/ml
29 ページ	第。部	第 I 部
	第「部	第 II 部
	第」部	第 III 部
	第、部	第 IV 部
	第・部	第 V 部
41 ページ (大会プログラム表紙)	第 20 会大会	第 20 回大会

編集後記

上の訂正表のように1号ではとうとう華々しい文字化けを出してしまった。外字の使用が文字化けを起こすことは何度もお伝えし、協力をお願いしていたが、いまだ寄せられる原稿のほとんどには依然として外字がふんだんに使われている。印刷のために送られてきたファイルはまず文字化けの可能性をチェックすることにしており、十分注意しているつもりだが見落としてしまった。特に上のような例はモニター上では正しく表示されるので、なおさらしまつが悪い。表紙の色についても、もう少し”しぶい”赤にするつもりだった。しかし本印刷が迫っていたために小さな色見本で決めてしまい、予想より派手な色合いに仕上がった(今年度はこの色で通すことにする)。いろいろ不備があった。お詫び申し上げる。弁解になるが、このところなんとも忙しくて編集がおろそかになりがちである。しかし私の担当も本号を含めてあと2号、もう少しの間辛抱しておつきあいをお願いしたい。

先の船橋大会のシンポジウムの講演内容の特集として掲載した。都合で、本号には三人の方の分だけを取りあげたが、次号で残りの2編を掲載する予定である。秋季シンポジウムも含めて、学会の主催や共催で行った講演はできるだけ和文誌でとりあげ、大会や講演会に参加できなかった会員が読めるようにすればよいと思う。和文誌の役割のひとつであろう。検討課題がまたひとつふえた。

和文誌編集委員会 井上 勲

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750 円、非会員 3,000 円、30 巻号(創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き)のみ会員 5,000 円、非会員 7,000 円、欠号 1-2 巻、4 巻 1, 3 号、5 巻 1, 2 号、6-9 巻全号。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格 会員 1,500 円、非会員 2,000 円、11-20 巻、会員 2,000 円、非会員 3,000 円、創立 30 周年記念「藻類」索引、1-30 巻、会員 3,000 円、非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補。1977. A5 版、xxviii+418 頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編(英文 26、和文 24)を掲載、価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編。1972. B5 版。xiv+280 頁、6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告(英文)を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B5 版、65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

1996 年 7 月 5 日印刷

1996 年 7 月 10 日発行

© 1996 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by Alles Ltd.

編集兼発行者 井 上 勲

〒 305 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学生物科学系

Tel. 0298-53-6655

Fax. 0298-53-6614

email. iinouye@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

印刷所

(有) ア レ ス

〒 305 つくば市竹園 2-11-16

Tel. 0298-53-8188 (代)

Fax. 0298-53-8177

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学理学研究科生物科学専攻

系統進化学講座

Tel. 011-706-2745

Fax. 011-746-1512

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第44巻 第2号 1996年7月10日

目次

日本藻類学会秋季シンポジウム案内

第21回日本藻類学会大会(広島)案内

口 絵 川嶋昭二:藻類アート

Fucus distichus L. subsp. *evanescens* (C. Ag.) Powell ヒバマタ

総説・解説

三室 守:藻類の光合成系で機能するタンパク質の系統性と進化 75

第20回日本藻類学会大会シンポジウム「海の中の森林生態学」特集(1)

倉島 彰・横浜康継・有賀祐勝:褐藻アラメ・カジメの生理特性 87

前川行幸・栗藤和治:三重県尾鷲湾におけるアラメ群落の生育環境と消長 95

谷口和也:海中林造成の基礎と実践 103

研究技術紹介 藻類の光合成研究法シリーズ-2

和田野 晃:光合成における炭酸ガス固定と酸素発生量の相関
および酸素電極測定法 109

吉崎 誠:日本藻類学会第20回大会(船橋・東邦大学)をふりかえって 115

鳩貝太郎:日本藻類学会第20回大会海藻採集会参加記 117

松山和世:第2回藻類学春の学校参加記(1996年3月30日~4月2日) 119

書評・新刊/新刊書・近刊書

内田英伸:まるいはマリモ(阿寒マリモ自然研究会) 121

大野正夫・Jacqueline Rebello:Manual de Metodos Ficologicos (Alveal et al. eds.) 121

館脇正和:海藻おしば カラフルな色彩の謎(横浜康継・野田三千代著) 122

小亀一弘:Taxonomy of Economic Seaweeds.
With reference to some Pacific species. Vol. V. (Abott, I. A. ed.) 122

堀口健雄:Algae: an introduction to phycology (Van den Hoek, C. et al.) 123

学会・シンポジウム情報 125

英文誌 Phycological Research 44巻1号掲載論文和文要旨 127

学会録事 129

投稿案内 137